

419年もの間受け継がれる 薩摩川内の伝統行事



大綱に参加したグループのメンバー

川内大綱引きに参加



橋口会長と下池団長

9月22日に薩摩川内市の国道3号線で開催されました川内大綱引きに、植村企業グループで参加しました。

この大綱は419年続く伝統行事で、一説には関ヶ原の戦いの際に士気を高めるために島津義弘公が始めたといわれ、鹿児島県の無形民俗文化財にもなっています。

総延長365m、直径41cm、重さ7tという日本一の大綱をサラシを巻いた約3000人の民衆が、上方(赤)と下方(白)に分かれて一番太鼓と言われる人の太鼓の合図で一斉に綱を引きます。綱の中心は押し隊とよばれる人たちが陣取り押し問答が繰り返され、その後ろに引き隊と呼ばれる人や一般参加の方々も一緒になって綱を引きます。

植村企業グループは下方で主に引き隊で参加しましたが、惜しくも勝つことは出来ませんでした。

綱引きが終わった後の綱は、チェーンソー等でカットされ無病息災・商売繁盛等の願いが込められている縁起の良い品として多くの方が会社や自宅に持ち帰って飾っています。

社員の皆さんも、この壮大で迫力のある川内大綱引きを見物に行かれたり、参加してみたいかがでしょう。

免許・資格取得者紹介

採石のための掘削作業主任者：塩屋 亮 (高城)

ゼロ災運動KYTトレーナー：福永 信郎 (営業本部)、唐仁原 栄一(環境安全室)

前土佐 貴之 (川辺)

各部署・各工場の紹介 ～コンプライアンス室～

ガイアテックには、関連工場を含め17の工場と幾つかの部署があります。
第3回目は今年4月より新設された【コンプライアンス室】について紹介します。

【コンプライアンスとは・・・】

コンプライアンスとは、法律を守り社会的常識や倫理を尊重することと辞書には記されています。

私たちの日々の業務も色々な法律やルールの中で行われています。社員のみなさんひとりひとりが会社のルールである就業規則がどのように定められているか把握して頂き、また自分の今いる工場・部署がどのような法律やルールのもと運営されているのか各所属長の元で今一度確認を行い、日々の業務に取り組むことにより社員のみなさんの意識改革にも繋がるのではと思います。



コンプライアンス室
小鷹 室長

【コンプライアンス室の意義】

1日の中で家庭で家族と過ごす時間より会社で会社の仲間達と過ごす時間の方が長いと一般的には言われます。そのようななかで社員の皆さんが少しでも会社での時間が過ごし易くなるようにと今年4月から新設され、4月から6月にかけて東別府社長・遠矢副社長・小鷹室長とで社員の皆さんとの個人面談を行い、その中で皆さん色々な話をされたと思います。

今後もどんなことでもコンプライアンス室に相談して下さい。全ての相談を解決するのは難しいかもしれませんが、コンプライアンス室が社員の皆さんの心のよりどころとなり、ガイアテックがますます働き易い職場になっていければと思います。

最後に「からだの健康管理は個々の責任、心の健康管理は同じ職場で働く仲間にも責任はある。」
このことを頭に入れ職場の仲間の異変に気づける職場作りをしていきましょう。

さつま郷本舗だより

～5合瓶も出来ました～

さつま郷本舗で取り扱っている焼酎の【久楽】が4合瓶と1升瓶に加えこの度新たに5合瓶が出来ました。4合瓶と1升瓶は緑色の瓶ですが5合瓶は茶褐色です。贈答用には4合瓶、晩酌用には5合瓶をいかがでしょうか？
今後の社内報で【久楽】を扱って頂いているお店を紹介していきたいと思っています。



ゴルフ場用乗用カートを寄付

この程、南日本開発株式会社・南九州カントリークラブ(日置市)の開場60周年を記念しまして、ガイアテックとして同カントリークラブへガイアテックの広告をプリントしたゴルフ場用の乗用カート1台寄贈しましたので社員の皆さんにお知らせします。プロ野球の阪神や福岡ソフトバンクを彷彿するようなデザインになっていますので南九州CCでゴルフをされる際はご利用してみても・・・
また、今後もう1台寄贈する予定にしています。

